

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

## 2017年度 (2017年4月～2018年3月) 特別勘定の現況

### 決算のお知らせ

#### ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

#### 【利用する投資信託の委託会社】

##### ライアンス・バーンスタイン株式会社



ライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするライアンス・バーンスタイン\*の日本拠点です。ライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

\*ライアンス・バーンスタインには、ライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

##### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、ステート・ストリート・グループの資産運用部門であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート・グループは1792年に米国ボストンで設立されたステート・ストリート銀行を中核としており、同行は世界最大級の預かり資産とネットワークを有するカस्टディ銀行として、卓越した財務内容と高い信用力を誇ります。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

##### アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

##### ブラックロック・ジャパン株式会社



ブラックロックは、1988年の設立後、グローバルに資産運用、リスク・マネジメント、アドバイザー・サービスを提供している世界有数の資産運用会社です。2017年12月31日現在、運用資産残高はグループ全体で総額6.28兆米ドル(約708兆円)にのぼります。ブラックロックの使命は、お客様のより良い将来に向けた経済的基盤を創造することです。お客様の資金を預かり運用するフィデューシヤリーとして、お客様の目標実現に必要な運用およびテクノロジー・ソリューションを提供しています。ニューヨークを本拠として北米、南米、欧州、アジア、オーストラリア、中東、アフリカ等、世界30カ国以上の拠点と従業員約13,000名で事業を展開しています。

##### キャピタル・インターナショナル株式会社



キャピタル・インターナショナル株式会社は、米国ロサンゼルスに本拠を置くキャピタル・グループの日本法人です。1986年に設立され、個人や年金などのお客様に、長期的視点に立ったアクティブ運用商品を提供しています。キャピタル・グループは1931年の創業以来、資産運用を唯一の事業として、業容を拡大してきました。1950年代から国際分散投資を開始、60年代にグローバル株式指数を開発するなど、グローバル株式投資の第一人者としての経験と実績を有しています。グローバルな調査体制、再現性の高い運用プロセスを通じ、長期的に優れた運用成果の実現を目指します。

- ・アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、 外国株式20%、日本債券30%、 外国債券30%とし、一定の規律に 従いリバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8 (下段)
	外国 株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	9 (下段)
	日本 債券 30%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (上段)
	外国 債券 30%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (下段)
積極運用 バランス型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、 外国株式35%、日本債券20%、 外国債券20%とし、一定の規律に 従いリバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8 (下段)
	外国 株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	9 (下段)
	日本 債券 20%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (上段)
	外国 債券 20%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式型	日本 株式 100%	JDFインデックス・ファンド国内株式F (適格機関投資家私募)	ブラックロック・ジャパン株式会社	7 (下段)	
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8 (下段)	
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	9 (下段)	
世界株式 プラス型	世界 株式 100%	キャピタル世界株式ファンドVA (適格機関投資家私募)	キャピタル・インターナショナル株式会社	10 (下段)	
新興国 株式型	新興 国株 式 100%	エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式 会社	11 (下段)	
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボ ンド・ファンド-3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	12 (下段)	
オーストラ リア債券 型	オース トラ リア 債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券 ファンド (適格機関投資家私募)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	13 (下段)	
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プ ール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式 会社	14 (下段)	

※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※ 新興国株式型およびオーストラリア債券型は、2015年5月1日に設定されました。

※ 日本株式型および世界株式プラス型は、2018年2月1日に設定されました。

※ 「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。

ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

お知らせ

※シティ債券インデックスの名称変更について  
シティグループの債券分析、並びにインデックス事業が、ロンドン証券取引所グループへ売却されたことに伴い、シティグループが提供しておりましたインデックス名称における「シティ」が「FTSE」へ変更されることとなりました。なお、各インデックスの連続性は維持されます。

・「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 [ 2017年4月～2018年3月 ]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+13.47%の1,716.30ポイント(前年度末1,512.60ポイント)となりました。年度の前半は、一時1,500ポイントを下回った後、シリアや北朝鮮の地政学リスクへの懸念後退や、欧米株式市場が上昇したことなどを背景に上昇しました。年度の後半は、安定した国内の政権運営や米国の税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇し、1月には一時1,900ポイントを上回りました。その後、米金利の上昇などを背景とした米国株式市場の下落や、円高米ドル安などを要因に日本株式市場は下落基調で推移しましたが、年度を通じては上昇となりました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.65%の24,103.11ドル(前年度末20,663.22ドル)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退、堅調な経済指標などを背景に上昇しました。年度の後半は、税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇基調で推移し、1月下旬には26,616.71ドルを付けました。その後、米金利の上昇が嫌気されたことや、米国の対中貿易制裁に伴う米中貿易戦争への警戒感などから下落基調となりましたが、年度を通じては上昇となりました。欧州株式市場は市場によってまちまちの展開となりました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数-1.76%、英FTSE100指数-3.64%、仏CAC40指数+0.87%となりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が低下(価格は上昇)し、年度末には0.045%(前年度末0.065%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退などを受けて0.105%まで金利は上昇(価格は下落)しました。その後、株安、米金利の低下が進んだことなどから、一時-0.015%まで低下する場面がありましたが、米金利の上昇に連れて、金利は上昇しました。年度の後半は、10年国債の需給の引き締まりが意識されたことなどから金利は低下しましたが、その後、欧米債券の金利上昇や、12月初めの入札が不調となったことなどを背景に、金利は上昇しました。2月に日銀の国債買い入れオペレーションにおいて国債の買い入れ額が増額されたことなどを受けて、金利は低下基調で推移しました。

### 【外国債券市場】

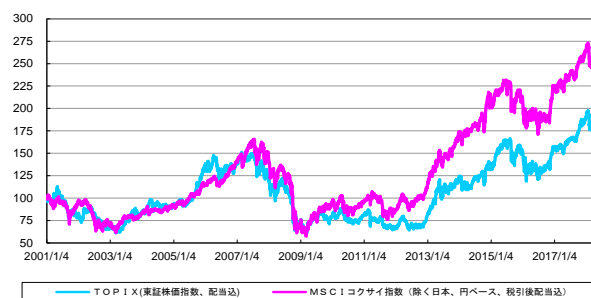
米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.739%(前年度末2.387%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見直しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半は、レンジ圏で推移した後、12月下旬に米国の税制改革法案が成立したことを受けて金利は上昇しました。平成30年に入った後も中国当局者らが米国債の購入を減額ないし停止すると警告したと報じられたことや米経済の堅調さなどを背景に金利は2.954%まで上昇しましたが、年度末にかけては、米中貿易戦争への懸念などを背景に金利は低下(価格は上昇)しました。年度を通じては金利は上昇しました。年度中に、FRB(米連邦準備制度理事会)による、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが3回行われ、計0.750%引き上げ、年1.500~1.750%となりました。欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇し、年度末には0.497%(前年度末0.328%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見直しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半には、米金利の上昇や、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和の縮小に対する前向きな姿勢などを受けて金利は上昇傾向で推移し、0.8%超となる場面もありました。年度末にかけては2月に発表された景況感指数やユーロ圏消費者物価指数速報値の軟調な結果や、ECB関係者が景気や物価に対して慎重な見解を示したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。年度を通じては金利は上昇しました。

### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には106.24円(前年度末112.19円)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見直しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半は、米国の税制改革法案への期待感などから円安米ドル高傾向で推移しましたが、1月に日銀が国債買い入れオペレーションを減額したことを受けて円高米ドル安基調に転じ、3月下旬には104.93円を付けました。ユーロ/円相場は、円安ユーロ高となり、年度末には130.52円(前年度末119.79円)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクへの懸念後退などの影響で、円安ユーロ高で推移しました。年度の後半は、ECBの金融緩和の縮小に対する前向きな姿勢などを要因に円安ユーロ高で推移しましたが、年度末にかけては、2月に米金利上昇などを要因に世界的に株安となったことなどを背景に、リスク回避のため安全資産とされる円が買われ、円高ユーロ安基調で推移しました。年度を通じては円安ユーロ高となりました。

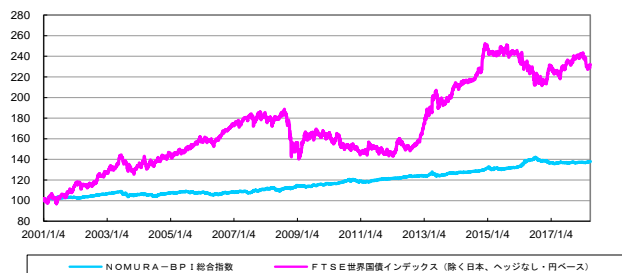
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



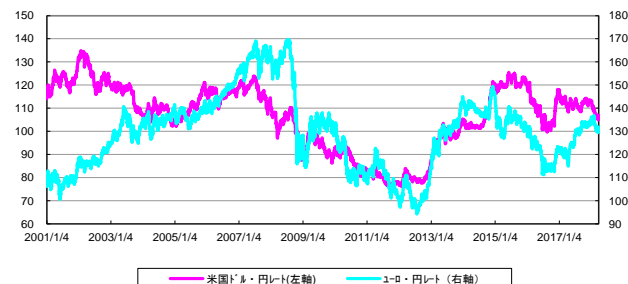
### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



※インデックスの名称が「シティ世界国債インデックス」から「FTSE世界国債インデックス」へ変更されました。

### 外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

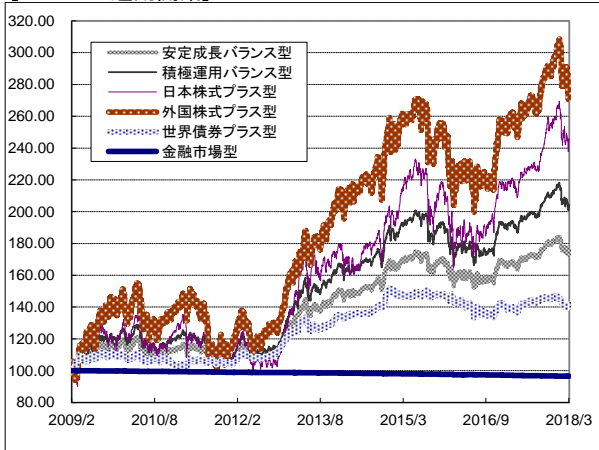
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

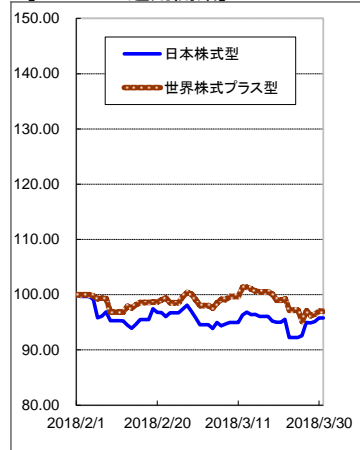
[2009/2/1運用開始]



[2015/5/1運用開始]



[2018/2/1運用開始]



#### ■特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高 金額(千円)
安定成長バランス型	9,204,855
積極運用バランス型	18,947,662
日本株式型	36,408
日本株式プラス型	4,628,623
外国株式プラス型	22,186,413
世界株式プラス型	768,483
新興国株式型	2,896,978
世界債券プラス型	3,057,181
オーストラリア債券型	1,443,413
金融市場型	419,678

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。

### 用語説明

- 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村証券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合指数は野村証券株式会社は、野村証券株式会社の知的財産です。野村証券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「FTSE世界国債インデックス(円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」は、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の動向を表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ エル・ピーに帰属します。
- 「日本無担保コールオーバーナイト物レート」について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>



# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定 安定成長バランス型・積極運用バランス型 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

##### 安定成長バランス型

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。

組み入れている日本株式投資信託、外国株式投資信託の資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄りました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

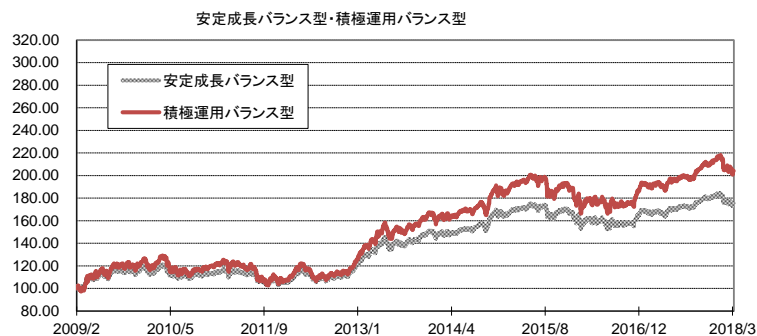
##### 積極運用バランス型

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。

組み入れている日本株式投資信託、外国株式投資信託の資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄りました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		安定成長バランス型	積極運用バランス型
ユニット プライス	2018年3月末	175.56	204.20
	2017年12月末	182.00	213.59
	2017年9月末	176.34	204.65
	2017年6月末	171.58	197.55
	2017年3月末	167.14	191.79
	2016年12月末	168.20	191.63
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△ 0.94	△ 1.72
	過去3ヵ月	△ 3.54	△ 4.40
	過去6ヵ月	△ 0.44	△ 0.22
	過去1年	5.03	6.47
	過去3年	3.35	5.87
	設定来	75.56	104.21

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	422,658	4.6	-	819,903	4.3	-
その他有価証券	8,782,197	95.4	100.0	18,127,758	95.7	100.0
日本株式	1,761,489	19.1	20.0	4,573,482	24.1	25.0
外国株式	1,718,950	18.7	20.0	6,224,684	32.9	35.0
日本債券	2,636,693	28.6	30.0	3,645,179	19.2	20.0
外国債券	2,665,064	29.0	30.0	3,684,411	19.4	20.0
合計	9,204,855	100.0	100.0	18,947,662	100.0	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	安定成長バランス型	積極運用バランス型
	金額(千円)	金額(千円)
利息配当金収入	—	—
有価証券売却益	155	950
有価証券評価益	336,244	770,790
有価証券償還益	—	—
為替差益	—	—
その他収益	—	—
有価証券売却損	—	239
有価証券評価損	—	—
有価証券償還損	—	—
為替差損	—	—
その他費用及び損失	—	—
収支差計	336,368	771,502

※ 金額の単位未満は切り捨てとしました。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

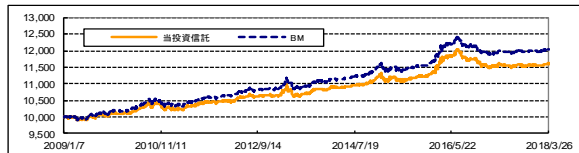
# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 《参考情報》日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2018年3月末日現在]

### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.15%	0.30%	0.54%	0.58%	4.02%	16.05%
BM	0.16%	0.37%	0.70%	0.90%	5.13%	20.47%
差	△0.01%	△0.06%	△0.16%	△0.32%	△1.10%	△4.42%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第134回利付国債	0.100%	2022年12月20日	1.86%	0.73%
2	第135回利付国債	0.100%	2023年3月20日	1.78%	0.22%
3	第129回利付国債	0.100%	2021年9月20日	1.30%	0.75%
4	第386回利付国債	0.100%	2020年3月15日	1.18%	0.23%
5	第385回利付国債	0.100%	2020年2月15日	1.18%	0.24%
6	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.05%	0.82%
7	第349回利付国債	0.100%	2027年12月20日	0.93%	0.73%
8	第130回利付国債	0.100%	2021年12月20日	0.89%	0.75%
9	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.83%	0.28%
10	第148回利付国債	1.500%	2034年3月20日	0.78%	0.44%
合計				11.79%	5.18%
組入銘柄数				519銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

### ■当投資信託について

【投資信託名】 日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数<sup>2</sup>)に連動した投資成果をめざします。  
※ 当投資信託は、主として日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	81.13%	83.07%	△1.94%
地方債	5.98%	5.56%	0.43%
政府保証債	3.24%	2.75%	0.50%
金融債	0.81%	0.61%	0.21%
事業債	6.78%	6.22%	0.55%
円建外債	0.60%	0.53%	0.07%
MBS債	1.27%	1.27%	△0.00%
コール・その他	0.19%	0.00%	0.19%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

### ○ ポートフォリオの状況

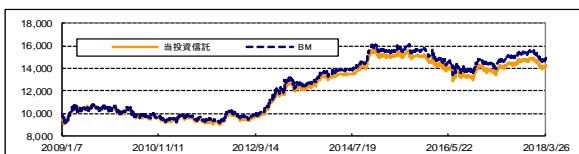
	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	0.13%	0.13%	0.00%
平均クーポン	1.12%	1.00%	0.12%
平均残存期間	9.69	9.68	0.01
修正デュレーション	9.05	9.04	0.01

- ※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

## 《参考情報》外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2018年3月末日現在]

### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.63%	△4.45%	△3.29%	2.95%	△6.03%	42.16%
BM	0.67%	△4.31%	△3.03%	3.43%	△4.66%	48.72%
差	△0.04%	△0.14%	△0.26%	△0.47%	△1.38%	△6.56%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	1.125%	2019年12月31日	0.73%	0.12%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.70%	0.13%
3	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2021年1月31日	0.69%	0.19%
4	アメリカ国債	米ドル	1.625%	2022年8月15日	0.66%	0.12%
5	アメリカ国債	米ドル	1.250%	2019年10月31日	0.65%	0.08%
6	フランス国債	ユーロ	3.000%	2022年4月25日	0.65%	0.36%
7	アメリカ国債	米ドル	1.250%	2020年2月29日	0.61%	0.11%
8	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2020年9月30日	0.59%	0.12%
9	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2021年11月30日	0.58%	0.16%
10	アメリカ国債	米ドル	3.125%	2019年5月15日	0.57%	0.18%
合計					6.42%	1.57%
組入銘柄数					488銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※ ベンチマーク(BM)の比率は2018年3月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場時価で円換算したものです。

### ■当投資信託について

【投資信託名】 外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス<sup>3</sup>(除く日本、ヘッジなし、円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。  
※ 当投資信託は、主として外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ○ 組入上位10カ国

順位	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	41.07%	42.00%
2	フランス	10.47%	10.54%
3	イタリア	9.82%	10.05%
4	ドイツ	7.06%	7.18%
5	イギリス	7.05%	7.31%
6	スペイン	6.14%	6.18%
7	ベルギー	2.54%	2.61%
8	オーストラリア	2.13%	2.17%
9	オランダ	2.13%	2.14%
10	カナダ	2.07%	2.09%
合計		90.48%	92.27%

### ○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	1.65%	1.64%	0.02%
平均クーポン	3.06%	2.60%	0.46%
平均残存期間	8.71	8.49	0.21
修正デュレーション	7.24	7.14	0.10

- ※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 上記の属性は2018年3月29日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

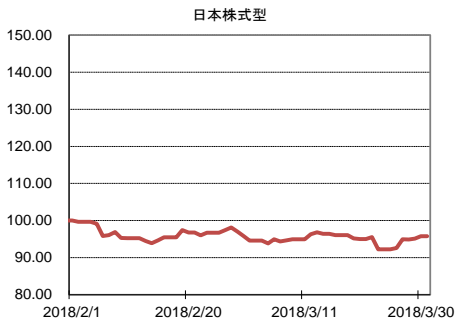
### 特別勘定 日本株式型 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
 当期、米税制改革案への期待や良好な米マクロ指標などの外部要因、国内主要銘柄の好決算や業績見通しの上方修正などを背景に日本株は上昇しました。2018年1月には、日経平均株価指数が96年6月の高値を上回る場面もありました。セクター別では、その他製品、サービス業、電気機器などが上昇しました。一方、海運業、鉄鋼は下落しました。  
 今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2018年2月1日）の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	日本株式型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	1,682	4.6
その他有価証券	34,725	95.4
合計	36,408	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	146
有価証券売却益	—
有価証券評価益	—
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	294
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	△148

	日本株式型
ユニットプライス	2018年3月末 95.77
	2017年12月末 -
	2017年9月末 -
	2017年6月末 -
	2017年3月末 -
	2016年12月末 -
騰落率(%)	過去1ヵ月 △1.26
	過去3ヵ月 -
	過去6ヵ月 -
	過去1年 -
	過去3年 -
	設定来 △4.23

### 《参考情報》JDFインデックス・ファンド国内株式F(適格機関投資家専用)

[2018年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 JDFインデックス・ファンド国内株式F(適格機関投資家専用)  
 【委託会社】 ブラックロック・ジャパン株式会社  
 【運用方針】

- 主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>※1</sup>に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- 「インデックス・マザー・ファンド国内株式」(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
- マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○資産配分比率

	マザーファンド
国内株式および先物等	99.95%
短期金融資産等	0.05%
合計	100.00%

#### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	△2.04%	△4.66%	3.59%	15.84%	18.25%	24.65%
BM	△2.04%	△4.67%	3.62%	15.87%	18.51%	26.79%
差	0.00%	0.01%	△0.03%	△0.03%	△0.26%	△2.14%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年4月25日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>※1</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

##### ○組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.34%
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	1.94%
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.42%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.39%
5	ソニー	電気機器	1.38%
6	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.34%
7	本田技研	輸送用機器	1.33%
8	キーエンス	電気機器	1.30%
9	任天堂	その他製品	1.16%
10	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.03%
合計			15.62%
組入銘柄数			2,061銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>



## ユニット・リンク保険（有期型）

### 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 日本株式プラス型 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。（以下、バリュース株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別。）  
 当期の日本株式市場は、2018年1月中旬にかけては、好調な国内企業業績や世界経済などを背景におおむね堅調に推移しました。その後、為替の円高進行などから反落し、2月上旬には米国の金利上昇が嫌気され、日本を含め世界的に株価が下落しました。その後も、不安定な米国株式市場や円高進行などから軟調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュース株Mファンドでは、テクノロジーにおける銘柄選択などがプラス要因となりました。グロース株Mファンドでは、資本財・サービスにおける銘柄選択などがプラス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	日本株式プラス型	日本株式プラス型
ユニット プライス (円)	2018年3月末	246.06
	2017年12月末	257.70
	2017年9月末	238.29
	2017年6月末	226.69
	2017年3月末	215.32
	2016年12月末	214.59
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△1.59
	過去3ヵ月	△4.52
	過去6ヵ月	3.26
	過去1年	14.27
	過去3年	13.75
	設定来	146.06

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	—
有価証券売却益	6,879
有価証券評価益	449,880
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	456,759

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	日本株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	184,238	4.0
その他有価証券	4,444,385	96.0
合計	4,628,623	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 【参考情報】適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンドー2 [2018年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンドー2

【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュース株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1)</sup>を行います。  
 ※ 当投資信託は、主として、パースタイン・日本ストラテジック・バリュース株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

#### ■当投資信託の詳細情報

##### ○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュース株Mファンド*	50.00%	49.72%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.32%
短期金融資産等	0.00%	△0.04%
合計	100.00%	100.00%

\* バリュース株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュース株・マザーファンド受益証券

\*\* グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

※ 「適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンドー2」は、2017年10月31日に信託金の限度額を100億円から1,000億円に引き上げました。

#### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	△1.72%	△4.57%	3.75%	15.73%	15.69%	134.88%
BM	△2.04%	△4.67%	3.62%	15.87%	18.51%	142.64%
差	0.33%	0.10%	0.13%	△0.14%	△2.82%	△7.76%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>14)</sup>です。

・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

##### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	投資信託
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.40%
2	日本電信電話	情報・通信業	4.25%
3	日本たばこ産業	食料品	3.10%
4	本田技研工業	輸送用機器	3.03%
5	パナソニック	電気機器	2.74%
6	KDDI	情報・通信業	2.44%
7	キーエンス	電気機器	2.38%
8	日本航空	空運業	2.37%
9	リクルートホールディングス	サービス業	2.21%
10	三菱商事	卸売業	2.00%
	合計		28.92%
	組入銘柄数		92銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>



# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 外国株式プラス型 [2018年3月 末日現在]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
当期の日本を除く世界株式市場は、堅調な経済指標や雇用環境を背景に上昇しました。利用する投資信託については、ベンチマーク対比でプラスとなりました。当期の世界株式市場は市場全体に対しそれまで先行して上昇していた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、これらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で少なめに保有していた銀行や石油メジャーが上昇したことはマイナスに寄与しました。個別銘柄では半導体・半導体製造装置における銘柄選択がプラスに寄与しました。地域別では上昇したヨーロッパ地域の銘柄を少なめに保有していたことはマイナスに寄与となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	外国株式プラス型	
ユニット プライス	2018年3月末	277.15
	2017年12月末	297.90
	2017年9月末	280.44
	2017年6月末	266.29
	2017年3月末	258.65
	2016年12月末	253.92
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△ 4.23
	過去3ヵ月	△ 6.97
	過去6ヵ月	△ 1.17
	過去1年	7.15
	過去3年	6.82
	設定来	177.15

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	1,143
有価証券売却益	40,398
有価証券評価益	892,082
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	933,624

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	外国株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現金・その他	978,370	4.4
その他有価証券	21,208,042	95.6
合計	22,186,413	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 《参考情報》アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2018年3月 末日現在]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。  
※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	△4.53%	△7.23%	△0.93%	8.26%	8.77%	8.02%
BM	△3.16%	△7.26%	△2.08%	7.62%	13.11%	11.16%
差	△1.37%	0.03%	1.15%	0.64%	△4.34%	△3.14%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIロコサイ指数<sup>※</sup>(配当込み/グロス/日本円換算)です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.14%
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.12%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.57%
4	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	1.54%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.43%
6	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.41%
7	FACEBOOK INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.39%
8	MASTERCARD INCORPORATED	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98%
9	MERCK & CO. INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.88%
10	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	0.87%
合計				14.34%
組入銘柄数				480銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 世界株式プラス型 [2018年3月 末日現在]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
 当期の世界株式市場は、世界的な景気の拡大を背景に企業業績拡大への期待が高まったことや、米国の金融緩和解除が緩やかに進められるなど金融環境が世界的に緩和的な状況だったことも株式市場を支え、上昇しました。利用する投資信託におきましては、企業調査に基づく銘柄選択を基本に運用を行いました。モバイル機器の利用拡大・小型化、IoT(モノのネット化)普及から恩恵を受ける情報技術関連企業や、新興国の生活水準向上の恩恵を受ける消費関連企業、革新的な新薬を開発する医薬品企業など、外部環境に影響されにくい成長要因を持つ企業に着目した銘柄選択を行いました。その結果、米国のネット小売企業やオランダの半導体製造関連企業などの積極的な保有がリターン積み上げに貢献しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2018年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の運用収支状況

	世界株式プラス型	世界株式プラス型
ユニット プライス (円)	2018年3月末	96.99
	2017年12月末	-
	2017年9月末	-
	2017年6月末	-
	2017年3月末	-
	2016年12月末	-
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△3.13
	過去3ヵ月	-
	過去6ヵ月	-
	過去1年	-
	過去3年	-
	設定来	△3.00

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	16,813
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	△16,813

### ■特別勘定資産の内訳

項目	世界株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現金・その他	51,697	6.7
その他有価証券	716,786	93.3
合計	768,483	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 《参考情報》 キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用) [2018年3月 末日現在]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)  
 【委託会社】 キャピタル・インターナショナル株式会社  
 【運用方針】

キャピタル世界株式マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に世界各国の株式等へ分散投資をする事で信託財産の中長期的な成長を目指す運用を行います。  
 ※ 当マザーファンドは、主としてルクセンブルク籍建外国投資信託証券「キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)(クラスC)」に投資を行いません。

### ■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	△4.02%	△3.98%	1.69%	14.07%	-	21.02%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2016年12月9日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 当投資信託は、ベンチマークを設定していません。

### ■ルクセンブルク籍建外国投資信託証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	ファンド
1	AMAZON	米国	一般消費財・サービス	4.05%
2	FACEBOOK	米国	情報技術	2.58%
3	TSMC	台湾	情報技術	2.31%
4	ASML	オランダ	情報技術	2.19%
5	MICROSOFT	米国	情報技術	1.94%
6	ALPHABET	米国	情報技術	1.88%
7	JPMORGAN CHASE	米国	金融	1.81%
8	NASPERS	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.73%
9	CME GROUP	米国	金融	1.44%
10	PERNOD RICARD	フランス	生活必需品	1.33%
合計				21.26%
組入銘柄数*				245銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

※ セクターについてはMSCI分類に基づいていますが、委託会社の判断に基づき分類したものが含まれる場合があります。

\* 組入銘柄数は、組み入れ開始後間もない銘柄を含まない場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 新興国株式型 [2018年3月 末日現在]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
 当期の新興国株式市場は、良好な米中経済指標や原油価格上昇が追い風となり上昇しましたが、2月以降は米長期金利上昇や米保護主義への警戒感などを背景に下落しました。今後も、運用ガイドラインを遵守しながら、ベンチマーク収益率に極力近い収益率の実現を目標に運用を行います。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		新興国株式型
ユニット プライス	2018年3月末	102.31
	2017年12月末	107.11
	2017年9月末	99.85
	2017年6月末	93.12
	2017年3月末	88.65
	2016年12月末	82.36
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△3.87
	過去3ヵ月	△4.48
	過去6ヵ月	2.46
	過去1年	15.42
	過去3年	-
	設定来	2.32

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	33,541
有価証券売却益	2,087
有価証券評価益	226,758
有価証券償還益 為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損 為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	262,388

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	新興国株式型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	110,790	3.8
その他有価証券	2,786,188	96.2
合計	2,896,978	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 《参考情報》 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2018年3月 末日現在]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>  
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCI エマージング・マーケット・インデックス<sup>®</sup>(円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外資建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてエマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	△4.12%	△4.49%	3.10%	17.19%	9.87%	67.93%
BM	△4.08%	△4.27%	3.62%	17.97%	15.77%	89.41%
差	△0.03%	△0.23%	△0.52%	△0.78%	△5.90%	△21.48%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス<sup>®</sup>(円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額となります。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	92.24%
株式先物	7.65%
短期金融資産等	0.11%
合計	100.00%

#### ○組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	4.99%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.82%
3 ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	3.57%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	3.45%
5 NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.82%
6 CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.46%
7 INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.06%
8 BAIDU, INC.	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	1.05%
9 CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	0.98%
10 PING AN INSURANCE (GROUP) COMPANY OF CHINA LTD	中国	金融	保険	0.89%
合計				23.08%
組入銘柄数				699銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>



# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

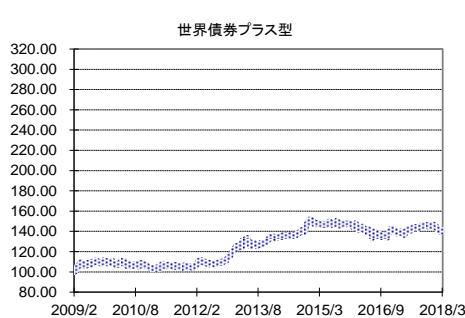
### 特別勘定 世界債券プラス型 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
 当期の世界の債券市場は、2017年4月から12月にかけては、北朝鮮情勢などの地政学リスクやトランプ政権に対する政治不安などから、安全資産としての債券の需要が高まり、価格は上昇（利回りは低下）しました。その後、2018年2月中旬にかけては、米国の経済指標や雇用統計結果が市場予想を上回ったことなどを背景に米国の長期金利が上昇し、価格は下落しました。3月末にかけては、米国金利の上昇が一服したことなどから、価格はやや戻しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、米国における残存期間戦略やカナダを高めとした国別配分が主なマイナス要因となりました。一方、チェココルナを高めとした通貨配分が主なプラス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	世界債券プラス型
ユニットプライス	2018年3月末 141.27 2017年12月末 146.55 2017年9月末 145.64 2017年6月末 143.29 2017年3月末 139.26 2016年12月末 142.44
騰落率(%)	過去1ヵ月 0.29 過去3ヵ月 Δ 3.60 過去6ヵ月 Δ 3.00 過去1年 1.45 過去3年 Δ 4.20 設定来 41.28

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	—
有価証券売却益	972
有価証券評価益	23,444
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	24,416

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現金金・その他	130,776	4.3
その他有価証券	2,926,405	95.7
合計	3,057,181	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
 なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [2018年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3  
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。  
 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。  
 ※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

#### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.32%	Δ3.64%	Δ2.83%	2.12%	Δ3.02%	42.88%
BM	0.53%	Δ3.13%	Δ2.10%	3.45%	Δ1.99%	40.63%
差	Δ0.21%	Δ0.50%	Δ0.73%	Δ1.33%	Δ1.03%	2.25%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース)<sup>7)</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	日本国債	日本	0.100%	2026年3月10日	A1	A+	3.43%
2	カナダ国債	カナダ	1.000%	2027年6月1日	Aaa	AAA	3.23%
3	米回国債	アメリカ	2.250%	2027年8月15日	Aaa	AA+	2.95%
4	米回国債	アメリカ	2.250%	2027年2月15日	Aaa	AA+	2.70%
5	米回国債	アメリカ	1.125%	2021年7月31日	Aaa	AA+	2.67%
6	米回国債	アメリカ	2.000%	2022年10月31日	Aaa	AA+	2.27%
7	米回国債	アメリカ	1.875%	2022年7月31日	Aaa	AA+	2.02%
8	日本国債	日本	1.400%	2034年9月20日	A1	A+	2.02%
9	マレーシア国債	マレーシア	3.580%	2018年9月28日	A3	A	1.86%
10	米回国債	アメリカ	1.625%	2026年5月15日	Aaa	AA+	1.82%
合計							24.96%
組入銘柄数							194銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>



# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 オーストラリア債券型 [ 2018年3月 末日現在 ]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
当期の当投資信託では、残存期間戦略が主なマイナス要因となった一方、高めに組み入れたインフレ連動債はプラス要因となりました。米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。オーストラリア経済は、インフレ率がやや上昇する兆しがみられるものの、これまでの金融緩和効果などで成長率は高まると予想しています。オーストラリア中央銀行は、追加金融緩和についてはほぼ中立の姿勢を示しており、引き続き雇用情勢や、住宅市場等、経済動向を注視しながら2019年から利上げに転じると予想しています。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		オーストラリア債券型
ユニット プライス	2018年3月末	92.07
	2017年12月末	98.19
	2017年9月末	97.42
	2017年6月末	96.00
	2017年3月末	94.41
	2016年12月末	91.87
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△ 1.68
	過去3ヵ月	△ 6.23
	過去6ヵ月	△ 5.50
	過去1年	△ 2.48
	過去3年	-
	設定来	△ 7.93

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	44,540
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	△ 44,540

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	オーストラリア債券型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	61,670	4.3
その他有価証券	1,381,742	95.7
合計	1,443,413	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 《参考情報》アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用) [ 2018年3月 末日現在 ]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。フルームバーグ・オーストラリア国債インデックス®(円換算)をベンチマークとします。  
※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	△1.78%	△6.41%	△5.43%	△2.04%	-	△5.98%
BM	△1.75%	△5.91%	△4.86%	△1.08%	-	△6.20%
差	△0.02%	△0.50%	△0.57%	△0.97%	-	0.22%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、フルームバーグ・オーストラリア国債インデックス®(円換算)です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	8.40%
2 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2022年7月15日	Aaa	AAA	7.04%
3 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	6.35%
4 オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	6.08%
5 オーストラリア国債	オーストラリア	2.250%	2028年5月21日	Aaa	AAA	5.80%
6 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	5.54%
7 オーストラリア国債	オーストラリア	4.500%	2033年4月21日	Aaa	AAA	5.04%
8 オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	4.54%
9 オーストラリア国債	オーストラリア	1.750%	2020年11月21日	Aaa	AAA	3.93%
10 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	3.73%
合計						56.44%
組入銘柄数						37銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2017年4月～2018年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 金融市場型 [2018年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のユニットプライス騰落率等は下記をご参照願います。  
 当期の日本短期債券市場は、前半では地政学リスクの後退や米国など海外市場の金利上昇の影響などを受け、短期国債利回りは上昇しました。後半は、日銀のイールドカーブ・コントロール政策が奏功しマイナス圏で推移しましたが、年度を通じてみると、日本短期債券市場の利回りは上昇しました。利用する投資信託では、サムライ債などの運用がプラス要因となり、年度のリターンはベンチマークを上回る結果となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	金融市場型	
ユニット プライス	2018年3月末	96.49
	2017年12月末	96.63
	2017年9月末	96.77
	2017年6月末	96.89
	2017年3月末	96.98
	2016年12月末	97.20
騰落率 (%)	過去1ヵ月	△0.06
	過去3ヵ月	△0.14
	過去6ヵ月	△0.28
	過去1年	△0.50
	過去3年	△1.55
	設定来	△3.50

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	—
有価証券売却益	6
有価証券評価益	—
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	40
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	△33

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	61,599	14.7
その他有価証券	358,079	85.3
合計	419,678	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
 なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 《参考情報》アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2018年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

#### ■当投資信託の騰落率

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。  
 ※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	△0.02%	△0.02%	△0.04%	0.00%	△0.08%	2.24%
BM	△0.01%	△0.01%	△0.02%	△0.05%	△0.03%	1.63%
差	△0.01%	△0.01%	△0.02%	0.05%	△0.05%	0.61%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート<sup>9)</sup>により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。  
 ・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

※ アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド(適格機関投資家私募)は、より安定した収益の確保を目指すため、投資対象の格付け、残存年数について、2017年11月30日に投資ガイドラインを厳格化もしくは明確化しました。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.70年	97.83%
短期資産等	0.00年	2.17%
合計	0.69年	100.00%

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 「\*1~\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について①

### 【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしきみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。（払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。）特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

#### ●保険関係費

保険関係費とは、お払込みいただいた保険料もしくは積立金から控除される諸費用です。  
保険関係費の細目は下表のとおりです。

保険関係費の細目	取扱内容
(1) 保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用	特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。
(2) 特別勘定の管理に必要な費用	*契約日が2017年4月1日以前のご契約者様積立金額に対して年率0.50%(0.50%/365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。 また、積立金額に対して年率0.25%(0.25%/12ヵ月)を乗じた金額を、月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(3) 基本保険金額保証に関する費用	
(4) 死亡保障などに必要な費用(危険保険料)	月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(5) 保険料払込免除に関する費用	保険料に対して0.1%~0.2%(保険料払込期間に応じます。)を乗じた金額を、特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。

※ 保険関係費(上表(1)~(5))の総額は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。

※ 契約条件に関する特約(08)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます(特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。)

特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

#### ●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期	
運用関係費	安定成長バランス型	年率 0.50868%程度 *1	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。
	積極運用バランス型	年率 0.55944%程度 *1	
	日本株式型	年率 0.12960%程度	
	日本株式プラス型	年率 0.88560%程度	
	外国株式プラス型	年率 0.54000%程度	
	世界株式プラス型	年率 0.78840%程度	
	新興国株式型	年率 0.54000%程度	
	世界債券プラス型	年率 0.56160%程度	
	オーストラリア債券型	年率 0.33480%程度	
金融市場型	年率 0.03510%~0.49680%程度 *2		

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等を含む総額の信託報酬率を記載しています。

信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

※ 運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

\*1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

\*2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について②

### <解約・減額時にかかる費用>

#### ●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日または減額日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合、基本保険金額の減額やユニット・リンク払済保険への変更などにも解約控除がかかります。

※ 早期に解約された場合は解約控除額が大きくなり、払いもどし金がまったくない場合もあります。

### <積立金の移転に関わる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき2,300円 【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	1カ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

### <年金払特約(O6)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用>

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して1.0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

\* 記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>